

## 沼津市立病院新改革プラン評価委員会委員による点検・評価結果について

### 1 趣旨

平成 28 年度末に策定した「沼津市立病院新改革プラン」（計画期間 平成 29 年度～令和 2 年度）では、病院事業の経営改善に総合的に取り組むことにより、令和 2 年度までに経常収支を黒字化することを目標としている。

経営改善の着実な推進を図るため、本プランでは年 1 回委員の点検・評価を受けることとしており、令和元年度の取組みについて委員から意見を伺った。

### 2 概要

本年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、市外の委員にはリモートで実施、市内の委員は訪問して評価を受けた。

#### (1) 評価委員会委員

	氏名	所属	職	実施日
委員長	上西 紀夫	公立昭和病院	病院長	令和 2 年 11 月 6 日
委員	田中 一成	静岡県立総合病院	病院長	令和 2 年 11 月 2 日
委員	西方 俊	沼津医師会	会長	令和 2 年 11 月 4 日

#### (2) 委員からいただいた主な意見

##### 収益確保に関するもの

- ・地域の開業医との連携をさらに強化することで、まだ紹介・逆紹介率を上げることができる。
- ・引き続き必要な医師数を確保し、患者数の増加を図ること。

##### 経費削減に関するもの

- ・費用の削減の取り組みは、一つひとつの効果は大きくないものの、これを積み重ねる施策を続けていくことが重要である。
- ・固定費削減のためには、病棟の効率の良い人員配置等を行うことも必要である。

##### 経営の安定に関するもの

- ・令和元年度は経常収支が黒字となり、これまでの取組みの成果が出てきたことを評価する。
- ・大きな動きがないと医業収支を黒字化することは難しいので、徐々に赤字額の縮減を図っていくことを継続的な目標としたほうが良い。
- ・院長が全職員を対象に行う経営状況などの講話は、職員の経営意識の向上や今後の病院運営の方向性を示す上で、非常に効果的である。

### **3 今後の取組み**

地域の医療機関との連携をより一層強化し、紹介率、逆紹介率を上げることにより、患者数の増加を図っていくことが必要である。また、医師の確保については、引き続き院長及び副院長が幅広く大学医局を訪問し、協力関係を深め、医師の招聘に力を注いでいく。

今後も新型コロナウイルス感染症の院内感染防止対策を行うことを最優先とした上で、医師確保、患者数の増加策等の収入を増加させる取組み、材料に係る価格交渉など費用削減策の取組みを進め、安定した病院運営を図っていく。